



# 学校だより

令和6年9月30日

No. 7 10月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 「聞く」から「聴く」へ

校長 小澤 孝之

連日の猛暑もやっと収まりつつあり、朝晩はずいぶん涼しくなってきました。校内では、運動会に向けた動きが始まり、校庭では50m走の記録会、体育館では演技に向けた練習が行われています。教室内でも、当日に向けた話合いが始まり、子どもたちの意識の高まりを感じます。運動会は今年度も午前開催になりますが、応援団を募っての応援や高学年リレーが行われる予定で、また一つ、子どもたちの活発な姿を見ていただくことができるのではないかと期待しています。運動会当日、子どもたちの目の輝き、一生懸命に運動に取り組む姿をごらんいただき、応援をいただければと思います。

さて、先日、幼保小交流事業の講演会で「話を聞くこと」の大切さについてお話を聴く機会がありました。

講演会の中で私が一番心に残ったのは、「傾聴する」ことの大切さでした。相手が話しているときに、何かをしながら聞いていたり、視線が別のところにあったり、適当な相づちを打ったりして聞くことは、相手の不安感や孤立感、怒りなどを生み、最終的には悲しみや無力感を生み出すことになるそうです。そのようにならないためにも、「傾聴する」ことが大切だということでした。傾聴することで相手は受け入れられていると感じ、安心感や信頼感が生まれ、他人も受け入れられるようになり、最終的には自ら動き出す原動力になるそうです。「傾聴する」とは、心と目と耳を傾けて聞くことであり、聞き手本人の価値観をひとまず置いて、評価・批判をせずに相手の話を聴く、ということでした。私たちは忙しい日々の中で、知らず知らずのうちに聴くことができていることがありますが、傾聴するのは、5～10分の短時間でもいいそうです。学校と家庭・地域で連携して、「聴く」ことを通して、子どもたちにとって安心できる場づくりを進めていきたいと思っています。

### 【学校運営協議会について】

本校には、地域の方・学識経験者・保護者代表の方に委員となっていただき、ともに子どもたちの成長のため、より良い学校づくりのためのご意見・ご助言をいただく場として、学校運営協議会を設置しています。5月に第1回の会合を行い、学校の年間予定等についてお話させていただきました。9月26日(木)には、第2回の会合が行われ、授業参観を通して、本校の現状をお伝えしました。会合では、「子どもたちの楽しそうな姿が見られて安心した。」「ICT機器を使った授業が面白かった。」「授業参観のため、子どもたちがウキウキしていた。」などのご意見・ご感想をいただきました。お話しいただいたことをもとにしながら、よりよい学校づくりを進めていきたいと思っています。